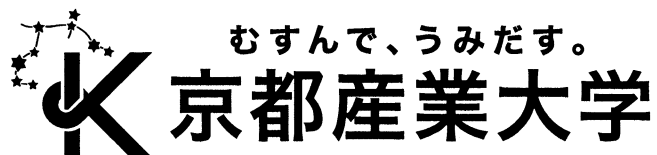


2025 年度

専門学科等対象公募推薦入試 問 題 集

経済・経営・法・現代社会・
国際関係・外国語・文化・理学部



☆この冊子は、2025 年度専門学科等対象公募推薦入試の問題をまとめたものです。2025 年度専門学科等対象公募推薦入試において、受験者が
あり、試験を実施した学部・学科（専攻）のみ掲載しています。

☆2025 年度専門学科等対象公募推薦入試においては、各学部とも、筆記試験に加えて面接を行いました。

— Contents —

経済学部	P. 1
・小論文	
経営学部	P. 4
・小論文	
法学部	P. 4
・小論文	
現代社会学部現代社会学科	P. 6
・小論文	
現代社会学部健康スポーツ社会学科	P. 8
・小論文	
国際関係学部	P. 9
・小論文	
外国語学部英語学科	P. 10
・小論文	
外国語学部アジア言語学科韓国語専攻	P. 10
・小論文	
文化学部	P. 11
・小論文	
理学部宇宙物理・気象学科	P. 12
・数学・物理	

〔I〕 以下の問いに答えなさい。

(1) 図1は1960年からの我が国における総人口と世帯数の推移と将来の予測を示したものです。この図に示されているように、総人口は2010年をピークに減少していますが、世帯数については2030年頃から減少すると予測されています。このように総人口と世帯数のピークが異なる理由について説明してください(100字以内)。

(2) 図2は我が国における住宅数と世帯数の推移と空き家率の推移を示したものです。このように、日本では空き家は増加傾向にあります。空き家が増加している理由として考えられることを多角的に説明してください(150字以内)。

(3) 空き家が増えることによりどのような社会的な問題が生じると考えられるでしょうか。考えられる問題について多角的に説明してください(150字以内)。

(4) 土地や住宅には、その所有者に対して固定資産税と呼ばれる税金が課税されます。しかし、住宅用の家屋が建っている土地は「住宅用地」として固定資産税の負担が大幅に軽減されることとなっています。この仕組みが、住まなくなった住宅が取り壊されず空き家として放置される要因の一つになっているという指摘があります。なぜこの仕組みがあることで空き家が増えることになるのかについて説明してください(100字以内)。

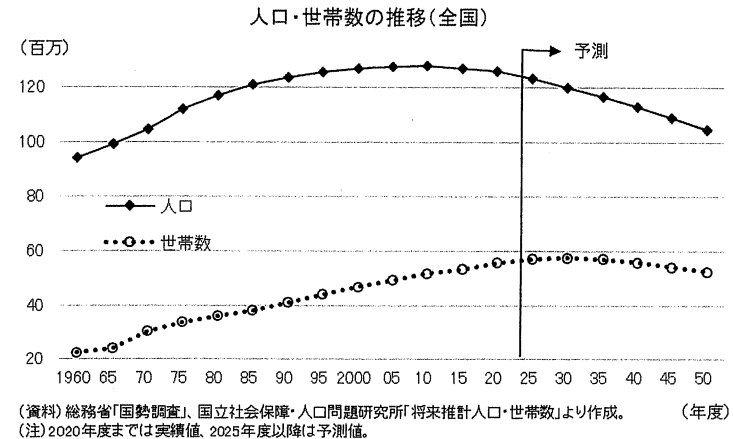


図1

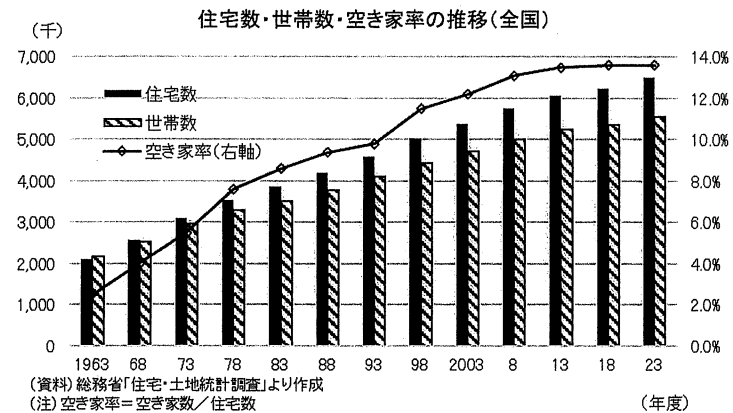


図2

〔Ⅱ〕 以下の問いに答えなさい。

- (1) 図1は都道府県別の総人口(単位:千人)と図書館の数との関係を散布図に示したものです。図の中に示した直線は回帰直線と呼ばれるもので、両者の関係についてもっとも当てはまりがよい直線です。総人口(単位:千人)を X 、図書館数を Y とすると、この直線は $Y = 20.6 + 0.019X$ となります。

図と上述の直線の式から、図書館の数と人口との関係についてどのようなことが読み取れるかを多角的に説明してください(150字以内)。

- (2) 図2は都道府県別のボウリング場の数と犯罪件数(人口千人当たりの刑法犯認知件数)を散布図にしたものです。これをみると東京都などボウリング場の数が多い都道府県は犯罪件数が多い傾向があることがわかります。このデータを根拠に犯罪件数が増加しないようにするためにボウリング場の新設は規制すべきという意見があった場合、あなたはその意見に対してどのように考えますか。理由を含めてあなたの考えを述べてください(150字以内)。

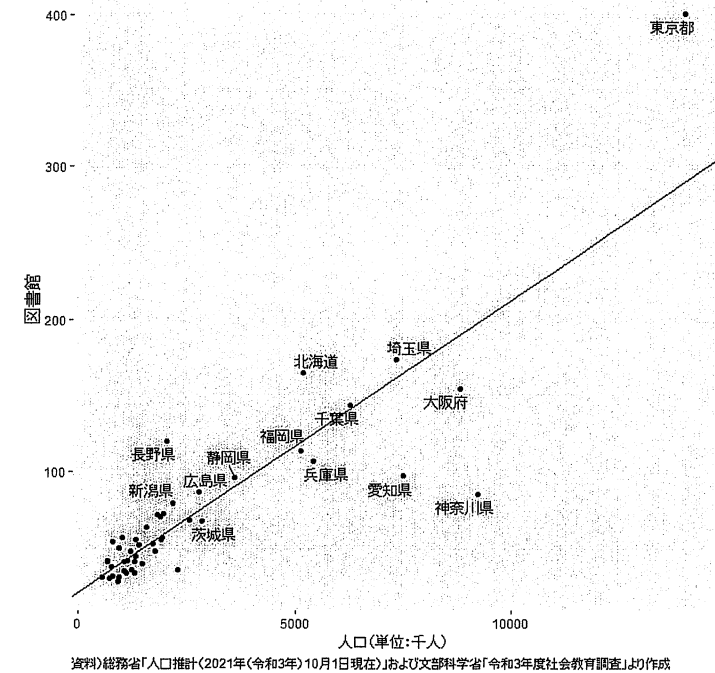


図1 図書館と人口

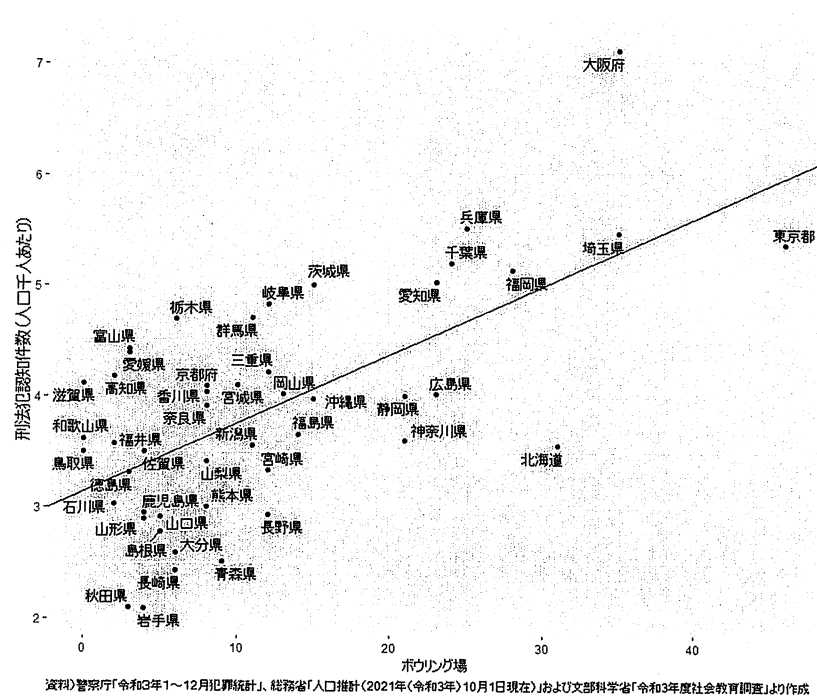
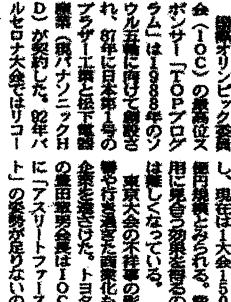


図2 ボウリング場と犯罪件数

冒頭に記すこと。

五輪最高位スポンサー



--

同大会の組織金は五種と比べて断が1つ少ない。ラグビーは欧州やオーストラリアに多い。セニアにファンが多いなど、明確な強みもある。『今の日本企業の目的にあつたスポーツへの協賛は今後も続くだろう』と田畑氏。費用対効果の低い大会や選手などへは「民権め」が進むのかも示れない。

問はるに「大谷に『ア
リババ』を打たないで
レ・C.M.を打たないで
の対応はスポンサーと
して例外だった」。

鶴田氏は「日本の企業
の立場が皆と違った影
響も大きい」と指摘す。
バタニックが勿論に「
O.P.プロダクション」の
たききは、バタニック
のブランドを世界に発信
し、放送機材の機に上
なけるという面が、大
たという。しかし、現在
はランド・認知が華んだ
うえ、放送機材が、ど
らのマーケットも持た
ない。人間が資本、米国の
企業も同様の流れにの
る。バリ五輪は5社が
最上位スポンサーに選
ばれ、選手も多すぎた。
2000年シドニー大会
3社からほぼ減った。

勢い、中国はネット
勢、に増すのがジヤ
アリババ集団など社、
雑誌はサムスンが名
を連ねていう。関心は
の「ホンザー」販売、振
のバタニックの発展
は、米田と白木に付
3社以上のスポンサー
ラム企業を同時に持つ
た。新興企業に上
五輪は、その世界を定
要キヤムのもので、
一方、規模がや小な
い大会は、最近、日
業の存在感は大い
グリーでは、2004のう
シスウ杯でアジアに
がアジア企業初の最
スポンサーに選ばれ
世界手帳が来年連
はるの臨上の場合は
か、がアシックス、5
日本企業になっている。

(出所：2024 年 10 月 3 日 日本経済新聞 朝刊)
(この記事は日本経済新聞社の転載許諾を受けています。無断での複写・転載を禁じます。)

- 構築すればよいかについて、あなたの考えを 800 字程度で述べなさい。

〔Ⅰ〕 この種の施策は救急搬送の一部有料化と呼ばれているが、この施策が導入された目的と、この施策によって生じうるデメリットを論じなさい。

〔Ⅱ〕 松阪市が採用している方法は、救急搬送の一部有料化のデメリットを最小化しつつ目的を達成するものとなっているか。この方法にはどのような問題点があるか、より適切な方法が存在するか否かを含めて、検討しなさい。

〈資料１〉救急車を呼んだ時の費用負担—新ルールが問いかける医療現場の窮状と課題—
119番にダイヤルして救急車を呼ぶ。そんな経験をお持ちの方もいるだろう。三重県松阪市が、2024年6月から新しいルールを導入した。救急車を呼んで病院へ運ばれたものの入院の必要がなかった一部の患者から、病院が費用を徴収するというもの。そこには、ひっ迫する救急医療を守ろうとする苦渋の決断もある。

松阪市の導入したルール

三重県松阪市の「費用徴収ルール」は、松阪市内にある３つの基幹病院（松阪中央総合病院・済生会松阪総合病院・松阪市民病院）で始まった。この３つの病院は、重症の患者も受け入れる「二次救急」も担当しているが、救急車を呼んで運び込まれた患者で、症状やケガが軽く「入院しなくてもよかった」場合は「選定療養費」として、病院が7,700円を徴収することになった。ただし、交通事故に遭った人や紹介状を持っている人などは、費用負担の対象外となる。また、病院側の判断によっては入院しなくても徴収されない場合もあるなど、緊急性については個別判断になる。すなわち、救急車を呼ぶこと自体が「有料」なのではなく、運ばれた先の病院での対応となる。

「選定療養費」制度を活用

「選定療養費」とは何か？2016年（平成28年）から始まった制度で、総合病院の窓口などに掲示されているため、ご存知の方も多いだろう。紹介状なしで大きな病院にかかる場合に、負担することになる特別の料金、特別な“初診料”とも言えようか、7,700円かかる。この「選定療養費」は、初期の医療はかかりつけの医師や地域の病院で行い、高度な専門的医療は大きな病院で行うという、病院の機能分担を目的としたものである。今回の松阪市の救急搬送ルールでは、病院におけるこの制度を活用した。

救急車の稼働数が際立つ

松阪市の消防本部は、松阪市、多気町、明和町の1市2町を管轄している。松阪市によると、救急車の出動件数が、2023年は1万6,180件だった。前の年から600件余り増え、20

年前の実に 2 倍になっている。この出動回数は、全国の同じ規模の消防本部の中で、図抜けて多い。例えば、2 位の埼玉県のある消防本部は 1 万 658 件、3 位の長野県の別の消防本部は 1 万 475 件。松阪市で、救急車が呼ばれる数が際立っている。

なぜ救急搬送が多いのか？

なぜ松阪市は、こんなに救急搬送が多いのか？市の健康づくり課に尋ねた。松阪市では 3 つの基幹病院の連携がうまく機能していて、1 年 365 日、患者の受け入れ態勢を取っている。管内の救急搬送の実に 96%を、この 3 つの病院で受け入れている。「必ず診てもらえる」という信頼感が、同時に「救急車を呼ぶハードルを下げているようだ」とのこと。2022 年のデータによると、救急車を呼んで病院に運ばれた人の 56.6%が入院の必要ない「軽症」だった。ちなみに「重症」は 4%、入院が必要な「中等症」は 37%。年齢別では、満 65 歳以上の高齢者が 6 割余りを占めていた。

救急医療現場がひっ迫

一般的に、救急車を 1 回運行すると、その費用は 4 万円から 5 万円かかるといわれる。救急隊は、原則 3 名で担当するため 3 名分の人件費、救急車を走らせる燃料費、医療の処置を行う費用など、これらは税金でまかなわれる。そして何より、松阪市によると、搬送体制や医療がひっ迫してしまい、このような状態が続くと「本当に救急医療が必要な、助かるはずの命が助からない」という。消防庁によると、通報を受けて救急車が到着するまでの平均所要時間は、2002 年は 6 分ほど、それが 20 年たった 2022 年は 10 分を超えた。それだけ、救急車は大忙しなのである。

躊躇することへの懸念

今回の新たなルールで危惧されるのは、救急車を呼ぼうかどうかと躊躇することによって、救急医療が本当に必要な人への処置が遅れる可能性があるということ。また、経済的な問題があってもお金が払えないと、救急車を呼べずに医療を受けられない人も出てきて、症状が悪化したりする場合もあるかもしれない。

町の医院や救急ダイヤルを活用

松阪市の担当者も、「救急車を呼ぶ」＝「有料化」と短絡的に受け止められることを懸念している。松阪市の場合、救急車の稼働は日中でも多いため、昼間は、近所の医院やかかりつけ医を利用するように、また、急な病気やケガで救急車を呼ぶかどうか迷った場合、24 時間 365 日対応の救急ダイヤルに電話してほしいと話している。それは「本当に救急医療が必要な人のために、救急車を適切に活用する」という目的のためである。

救急車が忙しすぎるという現状は、全国各地で起きている共通の問題である。命にかかわることも多い救急医療。本当に必要な人が処置を受けられるように、医療現場の模索も続くが、同時に、それを利用する私たちも、きちんと受け止めて考えたい重要なテーマである。今回の三重県松阪市の試みは、それを問いかけている。

(CBC テレビ特別解説委員・北辻利寿 CBC Web, CBC MAGAZINE, ニュースコラム東西南北論説風 2024 年 6 月 12 日配信)

〈資料 2〉救急車一部有料化、非入院患者の 13.5%から徴収 松阪

三重県松阪地区の救急搬送の一部有料化をめくり、入院に至らなかった軽症患者からの選定療養費徴収状況が 25 日、松阪市議会に報告された。徴収を始めた 6 月から 3 カ月で、入院しなかった患者のうち、徴収したのは 13.5%にとどまり、大半は「緊急性があった」とする医師の判断などで徴収を免じられていた。

市によると、6～8 月に 3 基幹病院に救急搬送された 3749 人のうち、54.8%にあたる 2056 人が入院しなかった。このうち、選定療養費を徴収したのは 278 人 (13.5%)。徴収しなかった理由は、医師の判断 (57.0%)、再診 (22.9%)、交通事故等 (10.0%) などだった。

選定療養費は、かかりつけ医療機関の紹介状なしに大病院を受診した際に、7700 円が徴収される。市は「救急車の安易な利用を減らす」として徴収に踏み切ったが、入院しなくても災害や交通事故、医師の判断などの「対象外」を設けていた。

一方で、松阪地区広域消防組合の救急出動件数は、6 月からの 3 カ月間で前年同期比 21.9%減の 3604 件。1 日に 50 件以上出動があった日は 78.7%減の 10 日だった。救急相談ダイヤルなどの利用は大幅に増えていて、市は「徴収は、持続可能な救急医療体制に一定の効果があった」と評価している。

市議会の環境福祉委員会協議会で報告され、委員からは「医師の緊急性判断の基準は」「乳幼児の症状には戸惑うので、救急車を呼ぶべきか手厚い相談体制を」などの声が出た。

(本井宏人 朝日新聞デジタル 2024 年 10 月 26 日配信)
(承認番号 (24-3233) 朝日新聞社に無断での転載を禁じます)

問題

次頁以降の【Ⅰ】、【Ⅱ】のすべての問題に解答しなさい。

【Ⅰ】

以下の文章を読んで、内容を 450～550 字程度で要約してください。

いま、SNS上には先生たちの葛藤の声が飛び交っている。

《教員の仕事をラーメン屋で例えると、仕込み時間5分の自分が納得できないラーメン(授業)を提供したくないって思うのと同じなんじゃないか》

十分な授業をしたくても忙しすぎて準備時間が十分取れない。教え子と向き合う余裕もない。取材でもこうした言葉を聞く。

教員の忙しさはデータでも裏付けられている。文部科学省が2022年度に実施した公立学校教員の勤務実態調査によると、平日の平均労働時間は、小学校10時間45分、中学校11時間1分。これには持ち帰ってする仕事時間は含まれていない。1カ月あたりの残業時間が文科省の定める上限(45時間)に達していたのは小学校教員で64%、中学校教員で77%。長時間の残業が常態化している。

国際的にも日本の長時間労働は際立つ。経済協力開発機構(OECD)の「国際教員指導環境調査2018」によると、中学校教員の1週間の仕事時間は、OECD加盟国のうち調査に参加した31カ国の平均が38・8時間だったのに対し、日本は56・0時間。書類作成などの「事務仕事」は、参加国で最長の週5・6時間だった。

少子化が進んでも先生の負担は重い。不登校や日本語の指導が必要な子どもは増えている。過剰な要求をする保護者への対応も課題だ。精神疾患で休職する公立学校教員は増えており、22年度は過去最多の6539人だった。

教育現場の門をたたく若者は減少している。公立小教員の23年度採用試験では、合格者数が採用見込み数(募集定員)を割り込む自治体が続出した。大分県では、受験者数が採用見込み数を下回る「定員割れ」が起きた。

このままでは優秀な人材が集まらず質の高い教育が難しくなる。文科省は中央教育審議会に特別部会を設け、昨年6月に議論を始めた。論点は主に三つ。働き方改革の推進や教員の専門性がさらに生かせる職場環境づくり、給与の引き上げだ。給与の見直しは今年2月から具体策が議論されている。

〔中略〕

教員の長時間労働問題について、文科省は「できるだけお金を使わずに、できることをする」という姿勢を続けてきた。

それぞれの学校や教育委員会は成績処理を電子化するなど、業務を効率化しようとしてきた。教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)も配置した。

ところが、そうした取り組みをしても、22年の勤務実態調査では長時間労働がさほど是正されていない。平日1日あたりの勤務時間は、小学校が10時間45分で前回の16年度から30分減、中学校は11時間1分で31分減にとどまった。「精いっぱい努力しても教員は疲弊するばかりだ」と都内の小学校長は言う。

予算の抑制、つまり人手を増やさないことを議論の前提にするのなら、勤務時間を十分には減らせない。

文科省は「教育内容と授業時間を減らさない」ことも前提としてきた。学力低下の批判を受け「脱ゆとり教育」にかじを切ったためだ。英語やプログラミングなど教育内容がふくらみ、授業時間の目安の「標準授業時数」も増えている。文科省内では、次の学習指導要領で教育内容や授業時数を減らすことは学力低下を招きかねないとして慎重な意見が根強い。

だが、長時間労働を是正できず教育の質の確保そのものが危ぶまれているなか、現状の内容と時間のままでいいのだろうか。

今回の中教審の特別部会の議論について、ある文科省幹部は天下分け目の「関ヶ原の戦い」にたとえ、働き方改革の集大成だと意気込むが、抜本的な対策が実現する見通しは立っていない。

労働時間の短縮や待遇改善が実現されなければ、教員になることを避ける動きが広がってしまう。文科省はこれまでの前提にとらわれず、結果を伴う対策を打ち出さなければならない。

(社会部・久永隆一、編集委員・氏岡真弓)

出典:「(記者解説)先生を、教育の質を守る 給与や長時間労働、予算かけ抜本策を」,

2024年03月11日, 朝日新聞朝刊 [一部省略あり]

(承認番号(24-3233) 朝日新聞社に無断での転載を禁じます)

【II】

以下の文章を読んで、各設問に答えてください。

デモグラフィックス属性に代わる、生活者を捉える新たな視点

● 「消齢化」が進む社会

20代は〇〇、40代は〇〇。これまで生活者の価値観や嗜好は、世代論で語られることが多かった。マーケティングや広告コミュニケーションの計画においては、性年代や職業、年収、居住地域、学歴などに基づいて対象顧客(ペルソナ像)を想定し、それに対応する施策が検討されてきた。

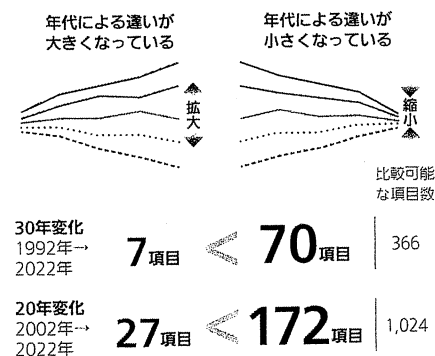
そうした活動が有効だったのは、デモグラフィックス属性が同じであれば、似たような価値観や嗜好を持っているという前提があったからだ。

しかし、[中略]その前提が崩れているという。

2023年1月、博報堂生活総合研究所は、「生活定点」の30年間の分析結果から、社会の「消齢化」が進んでいると発表した。「消齢化」とは、「若者らしさ」や「年相応」のような、年代・年齢に紐づいた生活者の特徴が徐々に薄らぎ、消えていく現象を意味する。30年前と比較すると、異なることが多かった年代による価値観や嗜好の差は、年々小さくなっていることがわかったとしている。

同調査は、同じ条件の調査地域・調査対象者に対して、同じ質問を繰り返し投げかける時系列調査で、1992年から隔年で実施している。30年目の節目に当たる22年調査を20年前や30年前と比較したところ、生活行動や消費態度、社会観など、多くの項目において、かつては大きかった年代や年齢の違いが小さくなっていったという。

年代による違いのある項目の比較



出所：博報堂生活総合研究所「生活定点」調査

[中略]

【問題】

次の【資料】を読み、以下の問い【Ⅰ】【Ⅱ】に答えなさい。

【Ⅰ】【資料】には国民スポーツ大会（以下の【注】を参照）の運営・開催に関し、見直しの声について書かれているが、そのうち経済的な観点からの筆者の主張を、100 字～150 字でまとめなさい。

【注】国民スポーツ大会（略称「国スポ」）とは、毎年開催されているスポーツの祭典であり、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的として、公益財団法人日本スポーツ協会（当時の日本体育協会）が 1946 年に第 1 回大会を開催した。各種目が都道府県対抗の形式で実施され、開催地は各都道府県または地域で持ち回りとなっている。

【Ⅱ】国民スポーツ大会開催の是非についてあなたの考えを 300 字～400 字で書きなさい。ただし、あなた自身の開催に対する賛否を明らかにし、経済的観点以外の理由を必ず複数挙げることによって論じなさい。

同研究所では、長年マーケティングで重用されてきたデモグラフィックス属性によるターゲット区分の有用性が薄れていると結論づけている。

出典：日経広告研究所編，2023，『広告白書 2023-24 年版』日経広告研究所
[一部省略・改変あり]

- 1) 図の中に「7項目<70項目」と書かれていますが、これはどのようなことを端的に表現したものか、文章で説明してください。
- 2) 「消齡化」が進んでいるとすれば、その理由は何だと推測できるか、あなたの考えを述べてください。
- 3) この文章で述べられている傾向は、あなたの身のまわりにも存在していると思いますか？ 思いませんか？ あなたの経験に基づき、あなたの考えを述べてください。

(問題終わり)

【資料】

国民スポーツ大会（旧・国民体育大会）の運営方法などの見直しを求める声が広がっている。全国知事会長の村井嘉浩宮城県知事が「廃止もひとつの考え方」と問題提起したのがきっかけだ。

大会は日本スポーツ協会、文部科学省、開催地の都道府県の共催で原則毎年開かれる。開催経費は数百億円規模に上り、開催地でなくても選手の派遣に1億円程度かかる場合もある。国スポの見直しを求める声はかなり以前からあった。

筆者も取材に加わって「転機の国体」と題した記事を掲載したのは今から26年前の1998年に遡る。神奈川、高知など7県が共同で当時の文部省と日本体育協会に国体運営の簡素化を求める要望書を提出したためだ。

記事では「協会は口を出すのが、金を出さない」といった自治体側の不満を紹介し、施設整備が重荷になっている具体例を幾つか取り上げた。今回、そのひとつである相模原市の津久井馬術場を訪れてみた。

JR橋本駅から車で40分程度かかる馬術場には馬場や厩舎、管理棟が並ぶ。98年の「かながわ・ゆめ国体」のために神奈川県が23億円を投じて整備した。当時は「周辺地域の振興拠点に」という話もあったが、谷あいにはぼつんとある印象だ。

県は2014年に運営から撤退。土地と施設を県馬術協会に無償貸与し、同協会が管理している。協会に登録する会員数は減っており、「修繕ひとつとっても何とかやり繰りしている状態」という。維持管理に四苦八苦する国スポ向けの施設は全国各地にある。

次に紙面で大きく取り上げたのは02年になる。当時の橋本大二郎高知県知事が「開発志向・天皇杯至上主義」の国体に疑問を呈し、無理な選手強化をしない方針を打ち出した時だ。それまでの国体は開催地が総合優勝していたが、02年秋の高知国体では県の順位は10位にとどまった。

同年12月には全国知事会が緊急決議をまとめている。「大会の発足当初とはスポーツ環境は変化し、国民の関心も薄れている」と指摘し、国や協会に「応分の負担」と「広域単位での開催を含めた改革」を求めた。

こうした経緯を踏まえると見直しの方向性ははっきりしている。ひとつは国や協会が少なくとも開催経費の半分程度を負担することだ。「国民」の大会なのに開催自治体に過重な負担を強いるのはおかしい。応分の負担をすれば規模の縮小にも本気で取り組むだろう。

もうひとつは都道府県の対抗戦という形式をやめることだ。地元以外の選手をかき集めて総合順位を競っても意味はない。そもそも、今年から名称が国スポに変わったことをどれだけの国民が知っているだろうか。

日本スポーツ協会は大会のあり方を改めて検討するが、今度こそ、小手先の改革で終わらせないでほしい。

出所：日本経済新聞 電子版 2024年6月5日『『国スポ』改革 今度こそ』

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0CD313KR0R30C24A5000000/>

(この記事は日本経済新聞社の転載許諾を受けています。無断での複写・転載を禁じます。)

国際関係学部 小論文 (60分) 専門学科等対象公募推薦

2025年度 国際関係学部 専門学科等入試問題 (小論文)

次の2題すべてに解答してください。(各文末のカッコ内の数字は配点です)

- I 2025年で、国連創設から80年になりますが、国連は様々な国際問題に直面しています。国連の組織そのものについても議論があります。そこで、現代の国連の組織的課題のうち重要な課題2つを取り上げ、具体的な問題点や対応策について、400字以内で論じてください。(50)
- II 21世紀においても難民問題は重要な国際問題です。そこで、難民の定義、国際社会の主な対応策、難民受け入れの社会的な影響について、各テーマを簡潔に説明し、400字以内にまとめてください。(50)

外国語学部英語学科 小論文 (60 分) 専門学科等対象公募推薦

近年、自動翻訳や AI の精度が上がり、世界の共通語と言われる英語を話さなくても、スマートフォンや翻訳機を通じて、異なった母国語話者同士がそれぞれの母国語を使って会話をすることが可能になりました。母国語で意思の疎通やコミュニケーションがとれるこのような状況で、英語を学ぶ意義は何だと考えますか。800 字以内で論じなさい。

外国語学部アジア言語学科韓国語専攻 小論文 (60 分) 専門学科等対象公募推薦

近年、日本においては、同時代の韓国の文学作品も数多く翻訳され、日本語で読むことができるようになりつつある。他言語で著された書籍を、1) 翻訳版で読む場合と、2) 原書で読む場合とでは、それぞれにいかなる意義があるであろうか？考える所を述べなさい(800 字以内)。

以下の文章はタイ文学を研究して翻訳や通訳を仕事としている福富さんの仕事について書かれたものです。文章を読んで、次の設問に答えなさい。

【Ⅰ】「福富さんは自身が翻訳するものに、そういう未来への責任感を感じている」と書かれているが、「責任」とは具体的にどのようなことをいうのか、本文から読み取れることをまとめなさい。(400字程度)

【Ⅱ】文学作品を翻訳するという仕事について、あなたが考えたことを述べなさい。(600字程度)

タイでは王政と軍部という、社会を支配する大きな権力が残っている。加えて、多様な民族が暮らし、六十から七十もの言語が話されているとも言われ、そこに社会階級もあるという複雑な社会構造をもつ。これまでにクーデターが起きたこともたびたびあり、二〇二〇年は若者の政治運動が大規模に広がった。世の中にまだとても大きなものが存在していて、それと対比させられる小さい個人の存在がまだはっきり残っているのが、タイという国だといえる。この状況で小説を書くことに対して、福富さんは「文学にできることは個人に寄り添うことだと思うんですね。ひとつの社会とか時代に生きた、ひとりひとりの姿を描けるのが文学のいいところだと。すなわち、タイ社会ではまだ文学の力は残っている」と希望をもって見ている。「そういう状況を、作家たちは自分たちなりの想像力を使ってとらえて、物語として読めるものをつくっている。その能力はすごい」。

日本の作家が置かれた状況とはまったく異なる。だから、タイ文学を翻訳することは、いまの日本で文学の力を残していくことにつながるかもしれない。たとえば、百年後に『ブラータナー』(注)が読まれたとする。読んでも当時の状況は全然わからないかもしれない。それでも、どうやらひとがすごく苦しんでいて、そこでなんとか生きているのはわかる。そしてそれを必死に書いたひと、翻訳したひとがいたらしい、と思ってもらえるかもしれない。強烈な体験を未来にもち越すことができるかもしれない。福富さんは自身が翻訳するものに、そういう未来への責任感を感じている。

福富さんが自分の翻訳について責任を感じるようになった背景には、クーデターに遭遇した体験も影響しているようだ。

二度目の留学のときにはタイ語も十分に使い、作家たちとの人脈もできていた。自分はタイに精通してきたという自信があった。ところが、クーデターが起きると、自分とタイ社会の間に境界線が存在することを突きつけられた。自分は、あと数ヶ月したら、日本に戻ればいい。しかしタイの人たちは、これから非常事態が日常になる。「自分は一時的にここを訪れているに過ぎない。彼らの怒りとか悲しみに全然寄りそえてない。それでタイの現代文学が、文化がどうこうといっている。それってすごく無責任じゃないか」と当時の疑念を振り返る。

いまは、これまで自分に刺激を与えてくれた作家や作品に恩返しをするつもりで、彼らの声を届けようと考えている。たとえば、ラップグループ Rap Against Dictatorship のミュージックビデオに日本語字幕をつけたのもその一環だ。ラップに乗せて強烈に体制を批判する内容で、それを日本で聴いたからといって、直接の影響はないかもしれない。しかし、アーティストにとっては、海外の人にこの状況を知ってもらえるとうれしいはずはある。そしてあわよくば、これに触れた人が、自分たちの生活や社会に引き付けて何かを考えてくれるかもしれない。その可能性は、文学の翻訳も同じようにもっている。

「動機はあまりにビュアに聞こえるので、口に出すのは恥ずかしくもあるんですが、海外文学のことをやっている人間なりに、翻訳して紹介することで、未来の社会に対してどう貢献できるかということかなと思うんですね」

アクチュアルなことを紹介しつつ、同時にもう少し長い時間軸をも意識している福富さん。今後はどのような作品を翻訳していこうと考えているのだろうか。基本的には読んで面白いかどうか。しいて意識しているのは、日本語世界にそれをもってきたときに意味があるかどうか。それは作品を読んだときに「ひとりの人間の姿をちゃんと写し取るとか、ひとつの社会の姿を、あるひとりの視点からでもいいから、その複雑さを書きとれている」と思えるかどうかだという。照れ隠しの微笑みを浮かべながら「結局ひとりの人間の命をちゃんと考えているかどうかが大事じゃないですか」と答える福富さんの表情は温かい。

百年後、価値観もテクノロジーも大きく変わっているだろう。それでも、強烈な体験をくぐり抜けたひとたちの声が価値あるものとして届くように、文学はある。

(白水社編集部編『『その他の外国文学』の翻訳者』白水社 2022, 174-78, 一部省略あり)

(注):『ブラータナー』は、タイの現代作家ウティット・ヘーマムーン作品。タイの政治問題を題材にしている。2019年に福富さんが翻訳出版した。

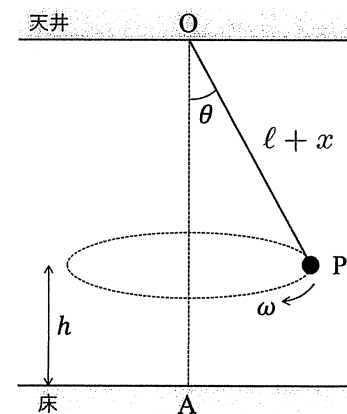
〔 I 〕 以下の問いに答えよ。途中の考え方がわかるように解答すること。

- (1) 1 枚のコインを 10 回投げるとき、少なくとも 2 回表が出る確率を求めよ。ただし、コインの表裏は等確率で出るものとする。
- (2) 座標平面上の 4 点 $A(1, -3)$, $B(6, 2)$, $C(6, -2)$, $D(3, a)$ に対し、 $\overrightarrow{AB}$ と $\overrightarrow{CD}$ が垂直になるときの a の値を求めよ。
- (3) $0 \leq x < 2\pi$ のとき、不等式 $\sqrt{3}\sin x - \cos x > 1$ を満たす x の値の範囲を求めよ。
- (4) $x = \frac{1 + \sqrt{3}i}{2}$, $y = \frac{1 - \sqrt{3}i}{2}$ のとき、 $\frac{y}{x} + \frac{x}{y}$ の値を求めよ。ただし、 i を虚数単位とする。
- (5) 関数 $y = x \log x$ ($x > 0$) の最小値を求めよ。ただし、 $\log$ を自然対数、 e を自然対数の底とする。

1/2

〔 II 〕 長さ ℓ で重さを見做できるゴムひもに、質量 m の質点 P をつり下げて静止させたところ、ひもは x_0 だけ伸びた。ゴムひもは、伸びについてフックの法則に従うものとする。次に、この質点をつけたゴムひもの一端を天井の点 O に固定し、鉛直方向に対して一定の角度 θ だけ傾かせて、図のように鉛直軸のまわりに一定の角速度で回転する円錐振り子を作った。このときのゴムひもの伸びを x 、角速度を ω 、重力加速度の大きさを g 、点 O の直下点を A 、床から P までの高さを h として、以下の問いに答えよ。ただし、空気の抵抗はないものとする。

- (1) ゴムひもの弾性定数 k を m , g , x_0 で表せ。
- (2) P に働く力のつり合いの式を水平方向と鉛直方向についてそれぞれ書け。
- (3) x を x_0 , θ で表せ。
- (4) ω を x_0 , ℓ , θ , g で表せ。
- (5) ある瞬間に P がゴムひもから外れて落下し、床と点 B で衝突した。ゴムひもから外れた瞬間の P の速さ v と、 P が床と衝突するまでの時間 t をそれぞれ求めよ。
- (6) (5) のとき、 A - B 間の距離を求めよ。



2/2

京都産業大学 入学センター

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山

TEL. (075) 705-1437

<https://www.kyoto-su.ac.jp>